

「私の愛する一点展」に寄せて

梅野記念絵画館 友の会
会長 秋山 功

今年もまた、全国からたくさんの素晴らしい作品が集まり、「私の愛する一点展」が開催されることになりました。会員の皆様の熱意とご協力に深く感謝申し上げます。

さて、「蒐集もまた芸術である」と看破した、今は亡き前館長の梅野隆さんの言葉に励まされ、勇気をもった人は私だけではないと思います。

その命日である「木雨忌」の時期に本展覧会が開催されますことは、梅野隆さんの志を引き継ぐという意味でも大変意義のあることだと考えております。

全国の会員の皆様が、有名無名を問わず「この作品こそは・・・」という熱い想いで出品された数々の作品です。様々な出会いや由来があったに違いありません。特に、梅野隆前館長は、素晴らしい作品を生み出しながら、世に埋もれてしまった作家を発掘し、顕彰するという大きな仕事を果たされました。その思いが会員の皆様に引き継がれ、無名ではあっても質の高い優れた作品が数多く出品されています。そんな作品の数々に出会えるのも本展覧会の魅力ではないでしょうか。

更に、本年度は、これまで15回の「私の愛する一点展」の中から、もう一度見たいと思う作品を、8人の幹事の方々に、それぞれの視点から選んでいただき、特別展示することになりました。併せてご覧になり、楽しんでいただきたいと思います。

* * * * *

出品作家一覧

相吉沢久、青山美野子、麻田浩、浅野弥衛、畦地梅太郎、荒井龍雄、新井狼子、五百住乙人、石野容三、猪熊昇、岩田道夫、植中直斎、梅野隆、梅野亮、海老名文雄、小田さゆり、小貫政之助、川島理一郎、栗原一郎、古宇田公仁、児玉清夫、近藤克美、近藤光紀、酒井亜人、櫻井陽司、佐藤清三郎、島村洋二郎、ジル・サクシク、田島隆夫、田中正、田中陽子、棚橋文子、坪内節太郎、冬青・小林勇、Toshi、富田溪仙、内藤瑤子、中嶋虎威、奈良重三郎、のむら清六、林田重正、ピエール・ラプラード、秀島由己男、平沢喜之助、牧野邦夫、馬越祐一、水上民平、水谷真一、水村喜一郎、宮坂房衛、宮崎進、宮本恒平、三輪田俊助、村上肥出夫、山村昌明、四方田草炎、ラインハルト・サビエ、若松光一郎

2016年展覧会スケジュール

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
大展示室	私の愛する一点展 7/3~8/28	望月通陽展 9/4~10/23	平沢喜之助展 10/30~1/15	松下春雄展 10/30~1/15	収蔵品整理のための休館	梅野記念絵画館の美展 2/20~3/31	市民ギャラリー 2/20~3/31	未定	未定	未定	未定
ふれあい館											

2016年イベントスケジュール

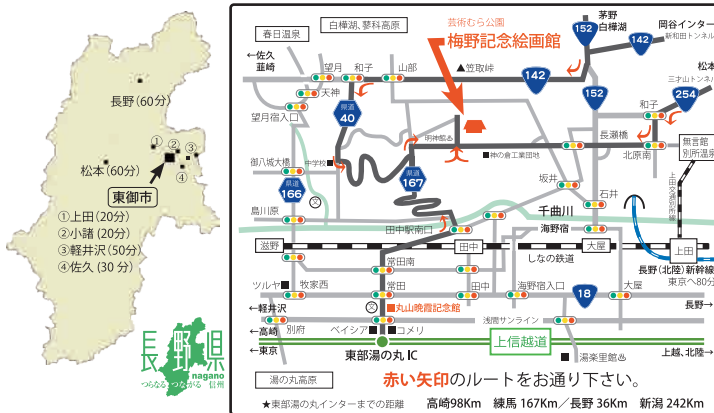
- 7月3日(日) 小山菜穂子の朗読会(破られた約束/刺青) 13:30~(要予約)
- 7月24日(日) 木雨忌 懇親会2000円(バスツアー有) 13:30~(要予約)
- 9月4日(日) つのただかしりゅうオープンニングコンサート(要予約)
- 9月19日(月・祝) 谷川俊太郎、谷川賢作コンサート -詩は歌に恋してる- 朗読とピアノのひとつとき 2500円(要予約)

施設情報、開館案内

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>
〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1
TEL0268-61-6161 FAX0268-61-6162 umenokinen@ueda.ne.jp
開館時間 午前9時~午後5時(4時30分迄にご入館ください)
入館料 800円(高校生以上)団体割引700円(15名以上)
身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。
休館日 7月4、11、19、25日 8月1、8、15、22日

アクセス

- お車** 練馬ICから2.5時間
- 鉄道** 東京から最速2時間
しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分
- ◆関東、北陸方面から
上信越道東部湯の丸インターから15分
- ◆関東、北陸方面から
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。
- ◆中部、関西方面から
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間
- ◆中部、関西方面から
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車



地域の情報をラジオで発信!
エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは
m@fntomi785.jp

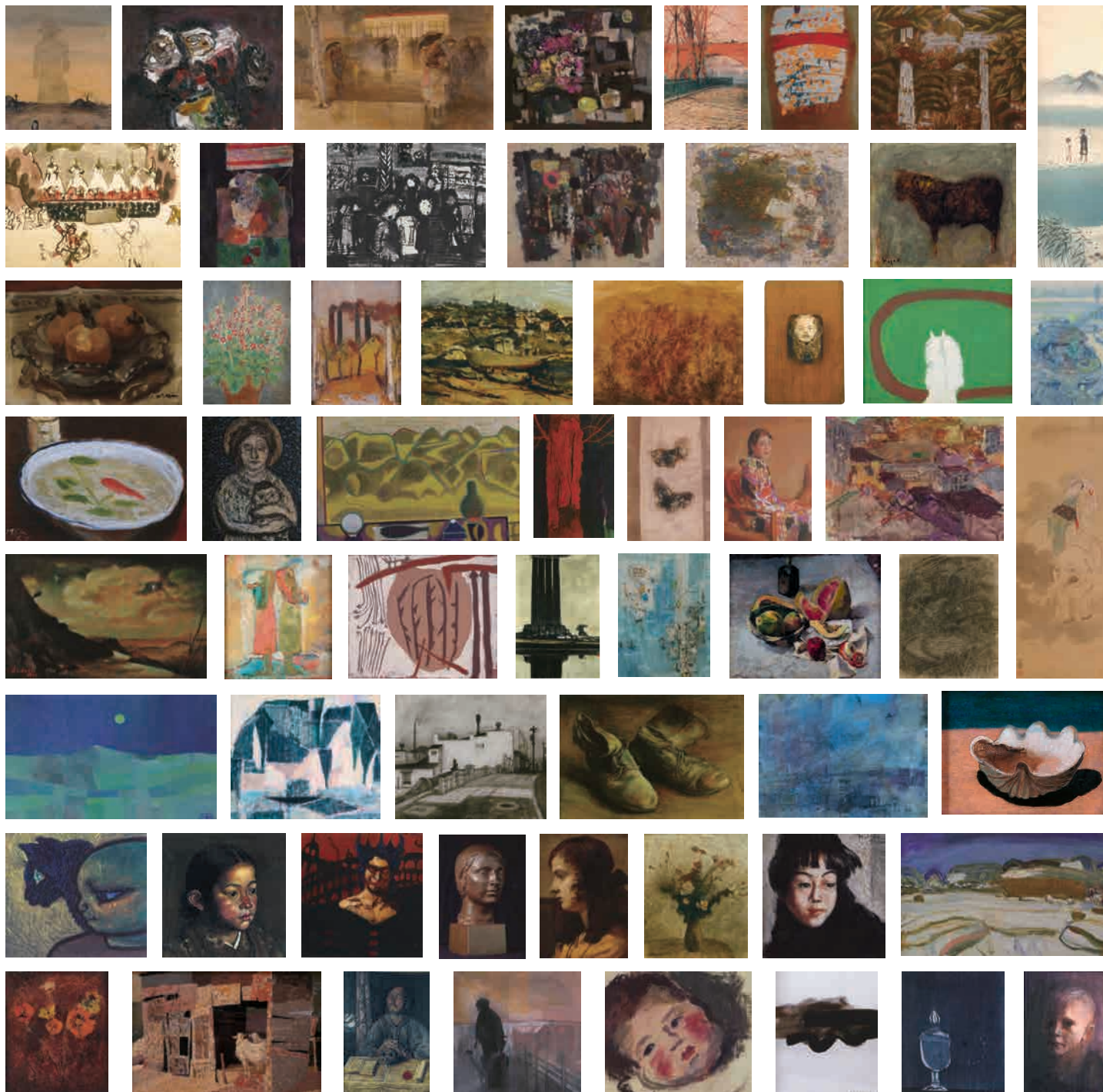
第16回 私の愛する一点展

2016年7月3日(日)~8月28日(日)

7月24日(日)木雨忌
13時30分~16時30分
木雨賞発表・ギャラリートーク
懇親会



〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 TEL.0268-61-6161 FAX0268-61-6162



「私の愛する一点展」15周年（1000点突破）記念

もう一度見たい逢いたい一点展

当館の恒例となった「私の愛する一点展」。もとを辿れば、文字通り、友の会の方々の愛着のある作品を一点だけ持ち寄って展覧会をしよう、という単純素朴な呼掛けで始まった企画でした。初回の出展作品数は60点。好評の追い風を受けて、2回目が開催されてからは毎年の恒例イベントとしてすっかり定着しました。

それが回を重ね、15回展のとき、それまでの出展作品を全て数えてみたら、なんと1,000点を超えていたのです。いつのまにか「宝の山」ができていたのです。その山をもう一度掘り返してみたくなりました。

一つ一つがだれかの愛情物語。順位付けをしようなどというつもりはなく、心に残る逸品、忘れられない、是非もう一度見たい、そんな作品を選び出す作業をしてみたく思いました。となれば、我が友の会には錚々たる顔ぶれが揃っています。とりわけ幹事の方々には名うての眼利き、名だたるコレクターが。というわけで、僭越ながら私から幹事会に依頼し選者を決めていただきました。その結果、選者は後藤洋明さん、中村徹さん、浅田正春さん、梅野亮さん、芝野敬通さん、御子柴大三さん、西澤賢史さん、大竹永明さんという顔ぶれ。この8名の方々をお願いすることになりました。推された作品は16回展の会期中、絵画館の中展示室に飾ります。また15年間1,047点作品一覧もパネルに表にして提示します。第15回を終え、出品作が1,000点を超えた記念のイベントです。楽しんで見て下さい。

（東御市梅野記念絵画館館長 佐藤 修）

※複数の方から選ばれた作品は「白痴」、「奥嵯峨風景」、「觸臚に手を組む自画像」、「秋の花」、「こわい帰り道」です。
 ※掲載されている写真は、今回選定された全ての作品です。都合により出品されないものも含まれています。